

令和 5 年 7 月 25 日 発行

富士五湖消防本部管理課 〒403-8599 山梨県富士吉田市松山5-10-13 TEL0555-22-0119(代表)
ホームページ: <http://www.mfi.or.jp/fg-kanrika/>

第12号



【各種行事】

★ 5 月 2 6 日 山梨県立ふじざくら支援学校 救命入門講習



山梨県社会福祉事業団 障害者支援施設 はまなし寮で救命講習会を行いました。総勢 60 名の職員が講習会に参加し、熱心に実技をしていただきました。

★ 5 月 2 8 日 第 4 3 回スポニチ山中湖ロードレース 消防警備



富士吉田消防署東部出張所の職員が第 43 回スポニチ山中湖ロードレースの消防警備を行いました。大会中の救急搬送は 1 件ありましたが、無事に警備を終了することができました。

★5月28日 第52回 富士吉田市消防団ポンプ操法大会で審査員



富士吉田市消防団ポンプ操法大会が開催され、富士吉田消防署の職員が審査員として参加しました。ポンプ車操法の部 17 個分団、小型ポンプ操法の部 5 個分団が出場しました。

★5月31日 救助技術訓練の富士吉田消防署長査閲



新庁舎となり真新しい訓練場で、第 50 回山梨県消防救助技術記念大会に富士吉田消防署から出場予定の引揚救助、ほふく救出、ロープ応用登はん、ロープブリッジ渡過、はしご登はんの隊員たちと、来年度以降に大会への出場意欲を燃やしている補助の隊員たちに対して、新企画として署長査閲を開催しました。

★5月31日 令和5年度 富士スバルライン自主防災協議会の防災訓練



富士山五合目にて防災訓練が実施され、当消防本部も訓練に参加し、閉会後に救命講習において指導しました。富士山噴火を想定した避難訓練をメインとして、登山者の避難対応を富士スバルライン協議会、山梨県警察とともに行いました。

★5月31日 第75回 全国消防長会総会



全国消防長会総会が京都市にあるロームシアター京都で開催され、当消防本部の消防長が出席しました。

★6月1日 令和5年度 富士五湖危険物安全協会 総会



富士五湖危険物安全協会総会が当消防本部3階大会議室で開催されました。

理事および会員の方々が令和4年度の事業報告、決算報告、監査報告を行い、令和5年度の事業計画案、予算案などについて協議されました。

★6月1日 マリア国際幼稚園の園児が救助訓練を見学



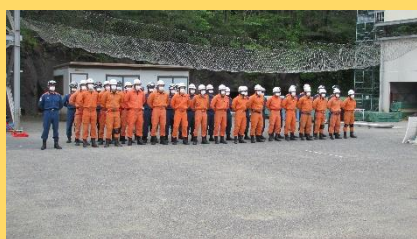
第50回山梨県消防救助技術記念大会に河口湖消防署から出場予定の障害突破、はしご登はんの救助訓練をマリア国際幼稚園の園児が河口湖訓練場で見学しました。

★ 6 月 4 日 富士河口湖町船津分団 普通救命講習会



富士河口湖町消防団船津分団の団員 20 名に普通救命講習会を実施しました。普通救命講習会などのお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

★ 6 月 6 日 救助技術訓練成果発表会（消防長査閲）



6 月 2 日に予定していた救助技術訓練成果発表会の代表理事査閲が雨のため中止となり、この日消防長査閲として実施しました。消防長から 6 月 13 日は今までの訓練を昨年同様大いに活躍して個人・団体、すべての種目で好成績を収められるように期待していると激励の言葉をいただきました。

★ 6 月 6 日， 7 日 富士吉田市消防団 普通救命講習会



富士吉田市消防団の団員 82 名に普通救命講習会を実施しました。普段から災害時に対応することを意識しているため熱心に受講していただきました。

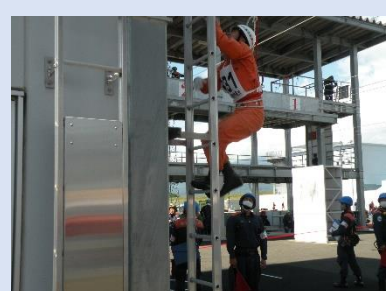
★6月8日 救助技術訓練の河口湖消防署長査閲



第50回山梨県消防救助技術記念大会を間近に控え、河口湖消防署から出場予定のロープブリッジ救出、障害突破、はしご登はんの隊員たちに対して、新企画として署長査閲を開催しました。

★6月13日 第50回山梨県消防救助技術記念大会

【はしご登はん】



【ほふく救出】



第50回山梨県消防救助技術記念大会が開催され当消防本部から7種目の全種目に出場しました。この大会は日ごろ鍛えぬいた救助隊員が互いの知識・技術を競い合うことを通じて、複雑多様化する災害に対応できる救助技術と体力や精神力を養い、研鑽を図ることを目的として開催されています。今回の大会では「はしご登はん」と「ほふく救出」の2種目で第1位を得ることができました。

☆6月16日 FMふじやまで広報活動



FM ふじやま様での広報活動第3回目。救急業務について救急課救急指導担当がお話しました。
毎月第3金曜日の13時10分から13時30分頃に放送となります。(当消防本部管内で災害等があった場合を除く)

☆6月16日 第51回消防救助技術関東地区指導会 水上の部選考会

【複合検索の部】



【溺者救助の部】



救助技術訓練の水上の部において、選考会を実施しました。選考会は溺者救助の部にて行われ、7月13日に茨城県ひたちなか市で開催予定の第51回消防救助技術関東地区指導会に出場します。

☆6月16日 定期普通救命講習会を開催



定期普通救命講習会Ⅲ（小児・乳児：3時間講習）を開催しました。
救命講習のお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

★6月15日 エクシブ山中湖で普通救命講習会



エクシブ山中湖において、普通救命講習会Ⅰ（成人：3時間講習）を開催しました。皆さん真剣に実技をしていただきました。救命講習のお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

★6月21日 第50回山梨県消防救助技術記念大会の表彰伝達式



第50回山梨県消防救助技術記念大会の表彰伝達式を行いました。（ほふく救出の部第1位、はしご登はんの部第1位、応用登はんの部入賞、ロープブリッジ渡過の部入賞）

★6月22, 23日 甲種防火管理者講習会を開催



甲種防火管理者講習会を2日間開催しました。受講者数30名に対しまして、火災等による被害を防止するため、防火管理上必要な知識を学んでいただきました。

★ 6 月 2 5 日 西桂町消防団との消防ポンプ中継合同訓練



山林火災を想定した西桂町消防団の消防ポンプ中継訓練が実施され、西桂分遣所の職員が訓練指導を行いながら合同訓練を行いました。消防団員の皆様による消防ポンプによる中継はスムーズに行われ、実践的で有効な訓練でした。

★ 6 月 2 7 日 富士五湖消防本部受援訓練

消防本部の訓練風景



富士吉田署の訓練風景



河口湖署の訓練風景



消防本部全体で地震などの大規模災害が発生した場合を想定して受援訓練を実施しました。市町村、県、県内消防本部の応援、緊急消防援助隊、警察、自衛隊などの関係機関と連携して全力で対応するためにも、災害が起こる前から定期的に訓練をしています。今年度は緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を当消防本部管内が被災地と想定して 11 月に実施する予定となっています。

★ 6 月 2 8 日 衛生委員会を開催



富士五湖消防本部の衛生委員会を開催しました。令和 4 年度の事業報告および令和 5 年度の事業計画案などを協議した後、産業医である富士吉田市立病院浅野医師に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」について講義をしていただきました。

☆ 6 月 2 8 日 富士山 5 合目防火対象物・危険物施設の無通告査察を実施



富士山 5 合目の防火対象物に対しまして、無通告査察を実施しました。防火対象物 7 施設、危険物 5 施設の査察を実施しました。

☆ 6 月 3 0 日 富士山の山小屋に対する立入検査を実施



富士山の 5 合目から 8 合目までの山小屋 18 施設の立入検査を実施しました。

☆ 7 月 7 日 富士急ハイランドの警防計画見直しと消防用水利などの再確認



富士急ハイランドの休園日に警防計画の見直しと消防用水利などの再確認を実施しました。新アトラクションや観覧車からの救助方法、はしご車が通過できる道路、消防水利からの消火戦術などを見直しと、再確認を実施しました。

☆ 7 月 1 0 日 第 5 1 回消防救助技術関東地区指導会水上の部出場前の消防長査閲



来る 7 月 13 日に茨城県ひたちなか市で開催される第 51 回消防救助技術関東開会水上の部へ出場する前に消防長査閲を行いました。今年度は溺者救助と複合検索の 2 種目出場することとなりました。隊員たちの健闘を祈ります。

★ 7 月 1 3 日 山中湖水上事故救助訓練を実施



当消防本部と富士吉田警察署、富士五湖観光船協会山中湖支部、山中湖漁業協同組合、山中湖水安全指導員の5関係機関と合同で水上事故救助訓練を実施しました。

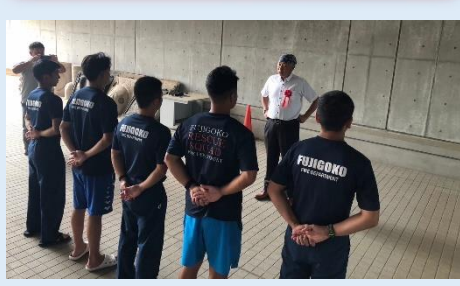
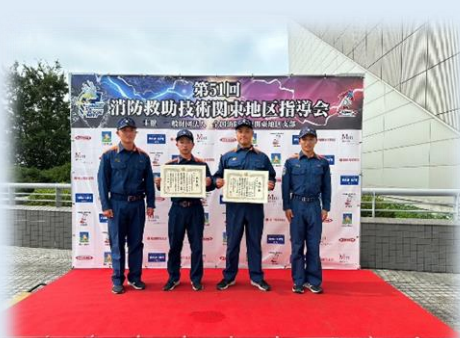
★ 7 月 1 3 日 富士吉田市子育て支援センターで普通救命講習会



富士吉田市子育て支援センターで普通救命講習会を実施しました。普通救命講習会などのお問い合わせは救急課：0555-22-4430 までお願いします。

★ 7 月 1 3 日 第 5 1 回消防救助技術関東地区指導会

【複合検索の部】



【溺者救助の部】



第 51 回消防救助技術関東地区指導会が開催され当消防本部から水上の部に 2 種目出場しました。今回は「複合検索」と「溺者救助」2 種目ともに入賞することができました。

★7月18・20日 第51回 消防救助技術関東地区指導会 表彰伝達式



第51回消防救助技術関東地区指導会の表彰伝達式を行いました。(複合検索の部入賞、溺者救助の部入賞)

★7月20・21日 富士北麓地域の中学生在が職場体験



富士北麓地域の中학생たちが、富士吉田消防署に職場体験のため2日間来署しました。
放水訓練、はしご車の試乗、心肺蘇生法などの体験をしていただきました。

★7月21日 FMふじやまで広報活動



FMふじやま様での広報活動第4回目。山岳救助について
警防課宮下怜消防司令補がお話ししました。
毎月第3金曜日の13時10分から13時30分頃に放送と
なります。(当消防本部管内で災害等があった場合を除く)
是非、お聞きください。

【消防署の仕事】



【第51回全国消防救助技術大会にほふく救出、はしご登はんが出場します】

山梨県消防救助技術大会で当消防本部のほふく救出チームとはしご登はんが優勝し、8月25日に北海道札幌市で開催される全国消防救助技術大会に出場します。



【ほふく救出】



堀内 佑樹 隊員

チーム一丸となり
正々堂々、最後まで
全力で挑みます。



渡辺 省吾 隊員

2回目の全国大会出場。
最後まで全力で挑み全
国1位を目指します。



渡辺 魁人 隊員

2年連続の全国大会。
山梨の看板を背負い
全国1位を狙います。

【はしご登はん】



太田 貴 隊員

悲願の全国大会出場。
山梨代表として、全国
制覇を狙います。



【はしご車の紹介】

この度、富士吉田消防署のはしご車が南関東防衛局の補助を受け、27年ぶりに更新配備されました。地上35mまで伸長可能で、コンピューター制御が進み、近代的かつ最新鋭の装備を有し、先端屈折式となっているため要救助者救出へのアプローチが以前のはしご車より近くまで行くことができます。



【富士五湖消防本部からのお願い】

【熱中症にご注意を】

「熱中症警戒アラート」発表時は、特に注意しましょう。

熱中症は 予防が大事

**水分補給は
こまめに**

命を守る行動を!

**エアコン、扇風機を
ためわらず使おう**

**夜間も熱中症に
注意**

**服装にも
工夫を**

子どもや高齢者は特に注意が必要です!!

子どもは・・・

- ① 大人に比べて暑さに強くありません。汗をかくなどの発汗調節機能が未発達のため、暑に弱くなりやすくあります。
- ② 自分では熱中症の予防を行えません。周囲に声をかけたり、適切な大人がそばに寄り添ってあげてください。

高齢者は・・・

- ① 体内の水分が不足しがちです。熱中症に比べ体内の水分量が少いため、こまめな水分補給をとり必要があります。
- ② 暑さに対する耐熱能力が低下しています。日陰により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くあります。
- ③ 暑さに対する体の調節機能が低下します。暑熱環境に体が慣れていないため、暑いときや湿気などにより体調不良への発症が起きやすくなります。

FDMA 総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency 119

こんなときはためわらずに
救急車を呼びましょう。

- ・意識がおかしい
- ・自分で水分が取れない

急な病気やケガで迷ったときは
救急受診ガイドを見てね!

救急車を呼ぶか迷ったときは、
全国版救急受診アプリ「Q助」を
ご利用ください。
熱中症の項目もあります。

熱中症に
つづ注意を!

【ゴミの分別について】

全国でごみ処理施設の火災が増加しています

ゴミの分別・処分方法にご注意ください

リチウムイオン電池やリチウムポリマーバッテリーによる火災増加

！身近な物に使われています！

携帯電話、デジタルカメラ、ノートパソコン、過熱式タボ
電動歯ブラシ、電気シェイバー、ラジコン、おもちゃ、など

また、カセットボンベやガスハンドトーチバーナーの
使用方法の誤り・処分方法による火災に注意してください！

ごみ処分に関してのお問い合わせは各市町村ホームページ、または各市町村役場までお願いします

【救急車のコンビニ等利用について】



救急隊のコンビニ等利用について

～救急隊員の飲食物購入に、ご理解、ご協力を心よりお願いいたします～

運用開始: 令和4年8月25日

利用店舗: 病院内売店、コンビニエンスストア等

現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響で救急出場件数が当本部管内においても増加しています。
救急件数の増加に伴い、救急隊が消防署に帰れなく、食事や水分補給をするのが難しい状況が多くなってきました。
このようなことから、救急要請という地域住民の皆さまのニーズに迅速、適切に対応し救急活動の質を維持するため、連続出場中の救急隊が、病院内売店、コンビニエンスストア、自動販売機等を利用していただく事にご理解をお願いいたします。



ただいま水分補給等
をしています・・・

皆さまのご理解、ご協力を
お願いいたします。

富士五湖消防本部

※水分補給等をしている最中は上記貼紙を救急車内の見える場所に掲示いたします。

☆問い合わせ先☆
富士五湖消防本部 救急課
電話 0555-22-4430 (直通)

【口頭指導のご協力について】

口頭指導のご協力をお願いします



口頭指導は、危機的状況に陥った傷病者のそばに居合わせた人から情報を聴取し、状況に適した応急手当を指示して実行してもらうことにより救命効果の向上を図るために実施しています。

突然の状況で大変かと思いますが、指令センター職員へのご協力をお願いいたします。

【iPhone・Apple watch 利用者の方へ】

消防本部からのお知らせ

iPhone、Apple Watch利用者の方へ

iPhone14シリーズとApple Watch8/SE(2nd)/Ultraに搭載された**衝突検出**機能が、ジェットコースターや、アトラクション等による**衝撃**、スキーやスノーボードによる**転倒**、衝突の衝撃により**119番に自動で緊急通報**することがあります。



自動通報が作動した場合は、通話に応答して怪我の有無などを119番受付にお伝えください。

富士五湖消防本部

TEL 0555-22-0119

【住宅用火災警報器を設置しましょう】



住宅用火災警報器を設置しましょう!



平成 23 年から「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。富士五湖地域の設置(率)状況は 78%(令和 3 年度)です。

住宅火災による死者は、年間約 1,000 人にも上り、そのほとんどが**逃げ遅れ**によるものです。

安全な生活を送るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

【住宅用火災警報器を設置されている皆様へお願い】

定期的な点検をお願いするとともに、設置から **10 年経過**してしましたら交換をお願いいたします。

※住宅用火災警報器の詳細内容は、富士五湖消防本部ホームページもしくは下記 QR コードからご覧ください。



住宅用火災警報器の詳細 QR コード

【富士五湖まちかど救急ステーションの募集】

富士五湖消防本部では、1分1秒を争う住民の命を守るために「富士五湖まちかど救急ステーション」標章制度を運用し、コンビニや一般企業などの施設のご協力のもと普及をしています。

住民のためにAEDによって救命できる体制へのご支援、ご協力をお願いいたします。

詳しい内容は、富士五湖消防本部 救急課
(0555-22-4430) までご連絡ください。



救急ステーション MAP QRコード

大事な命を守る！



緊急時には、富士五湖消防本部ホームページまたはCATV富士五湖データ放送 救急医療情報の富士五湖まちかど救急ステーションQRコードを活用してMAPをご覧ください。

【救急車の適正利用にご協力ください】

救急車は年間約619万件も出動しています。
台数には限りがあります。本当に必要な人のために
救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車の適正利用とは？
スマートフォンでアクセス
救急車は緊急性の高い方を搬送します

一般財団法人 全国消防協会



軽い症状でも救急車の利用する人が増えています。

当消防本部の救急車は6台です。近く消防署から救急車が出場している場合は、遠くからの救急車が出場することとなります。

事故による大けがの人や、心筋梗塞や脳卒中などで緊急に病院へ搬送しなければならない場合に遅れてしまいます。

皆様のご協力をお願いいたします！



その119番
本当に緊急ですか？



救急車は緊急性の
高い方を搬送します



急な病気やケガで迷ったときは 救急受診ガイドを見てね！

救急車を呼ぶか迷ったときは、
全国版救急受診アプリ「Q助」を
ご利用ください。
熱中症の項目もあります。



【消防隊が救急現場に行くことがあります】



PA 連携

救急現場で救急隊の補助や現場近くの救急隊が出場していて、別の救急隊よりも先行して現場に向かい応急手当(PA 連携: Pumper, Ambulance や RA 連携: Rescue, Ambulance)をする活動をしています。サイレン等でご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

【消防車等のサイレン音について】

指揮車、消防車、救助工作車、はしご車が緊急出場するときのサイレン音

火災出場するときは…

ウーガンガンガン ウーガンガンガン



火災以外で出場するときは…

ウー ウー



サイレンの音が聞こえたら、音で、どのような出場をしているか聞き分けていただけます。

サイレンは緊急車として道路を走行する場合は、①サイレンを鳴らす。②赤色の警告灯を点灯させる。ということが法律で定められています。(道路交通法第39条～41条の2、道路交通法施行令第13条、第14条)また、サイレンの音量も法律で定められています。救急車や消防車が赤信号でも一時停止をして安全を確認してから進み、ほかの車両を追い越して災害現場に急行することができるのも、2つの要件を満たしているからです。

私たち消防は地域の皆様の救命や苦痛の軽減、地域の安全安心を最優先に考えております。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【救急車が出発するまでのお願い】



救急隊は現場を出発するまでに、救急車を要請した状況や症状の確認、傷病者の観察・処置をした内容を病院へ連絡をしています。また、症状や観察の結果、病歴、掛かり付け病院、出勤場所の位置などを考慮して搬送先病院を選定します。病院への連絡は、救急隊だけでなく消防本部の指令センターと協力しながら行っています。

病院でもすべての症状に対応出来るわけではありません。救急隊は、病院の受入れ情報をもとに近隣の受入れ先を探しますが、特に夜間、休日などは救急診療に限られるため、病院がひっ迫している状況などにより、病院への依頼回数が多くなることで、現場への滞在時間が長引くことがあります。また、医師の判断によっては救急車ではなく、家族等により自家用車で来るよう指示がある場合があります。

限られた医療資源を守るためにも救急医療の適正利用にご協力をお願いします

【119 番の適正利用のお願い】



119 番は火災、救急車の要請時における緊急回線です。回線の数には限りがあります。病院の問い合わせや、間違いといった通報が全体の 16%にも及んでいます。

緊急でない内容の対応をしていたために、「**救急車が必要なのに電話が繋がらなかった。**」などという事がおこります。みなさんのご協力をお願いします。

※緊急時には迷わず 119 番通報を！！

【山火事防止のお願い《参考：林野庁》】



日本では山火事はどの位発生しているの？

最近5年間（平成28年～令和2年）の平均で、1年間に約1.3千件発生しています。これを1日あたりにすると、全国で毎日約3件の山火事が発生していることになります。

山火事のおきやすい時期はいつ？

山火事の約7割が冬から春（1月～5月）にかけて集中して発生しています。

山火事の直接的な原因にはどのようなものがあるの？

発生した林野火災のうち原因が明らかなものについてみれば、「たき火」が31.4%で最も多く、次いで「火入れ」、「放火(疑い含む)」、「たばこ」となっています。

山火事予防に当たって注意することは？

我が国の林野火災は、その多くが人間の不注意などによるものとなっています。

- ◇枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- ◇たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ◇強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- ◇火入れを行う際、許可を必ず受けること
- ◇たばこは指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てないこと

【林野庁山火事予防】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/hogo/yamakaji/>



【お知らせ】

【富士五湖消防本部職員の募集について】



**郷土を守る仕事
消防士という生き方**

富士五湖消防本部 消防士募集

詳しい採用情報は、PC・スマホ 

お問い合わせ 富士五湖消防本部 管理課 〒403-8599 富士吉田市松山五丁目10番13号 TEL 0555-22-4428(直通)

令和5年度の募集は
7月11日から8月11日
までです。



【富士五湖消防本部情報発信サービス】

富士五湖消防本部情報発信サービス
～ フォロー・チャンネル登録をお願いします ～

 HomePage 〒403-8599 富士吉田市松山五丁目10番13号 TEL 0555-22-4428(直通)	
 Twitter 富士五湖広域行政事務組合 富士五湖消防本部	
 Instagram 公式 Instagram	
 YouTube 富士五湖消防本部 公式チャンネル	

閲覧していただくとともに、
フォロー・登録等を
よろしくお願いいたします。



【富士五湖広域行政事務組合 広報「富士五湖」】

富士五湖広域行政事務組合広報

広域 富士五湖

富士五湖広域行政事務組合の広報誌は毎年2回(4月と10月)発行しています。
富士五湖広域行政事務組合ホームページで見ることができます。そちらも是非ご覧ください。

富士五湖広域行政事務組合ホームページ

<http://www.fujigoko-databank.jp/>



こちらをご覧ください。

【富士五湖消防本部の出場件数（7月25日現在）】



火災 17件

救急 3,037件

救助 67件



【富士五湖消防本部の年間出場件数（令和4年）】



火災 27件

救急 5,284件

救助 102件



編集後記

第12号は6月、7月の行事、消防署の仕事、当消防本部の「お願い」と「お知らせ」をご紹介しました。第13号（8月、9月）では、全国消防救助技術大会の結果をお知らせいたします。お楽しみに。

広報室長



富士五湖消防本部

情報発信サービス一覧

<https://www.mfi.or.jp/~fg-kanika/>



HomePage



<https://twitter.com/FujigokoFD>

https://www.instagram.com/fujigokofd_119/



Instagram



<https://www.youtube.com/@fujigoko.FD>